

友の会とは

ベーチェット病友の会は、1970年に設立されました。

ベーチェット病に関する正しい理解を深め、知識を広めることによって早期発見、早期治療に貢献し、医療および福祉の環境改善を促進しています。ベーチェット病患者がより良い療養生活を送るため、様々な活動を行っております。

本部 主な活動

- ・医療講演、相談会の開催
- ・会報誌「わだち」の発行
- ・専門医への紹介
- ・電話による療養相談
- ・全国大会の開催
- ・行政機関への働きかけ（要望）

支部 活動

同じ病気の仲間の良くなった体験や治療のようすなどを共有し、病気を知ることができます。

お近くの支部をご案内しています。

入会を希望する方、お問合せなどは
遠田（とおだ）までご連絡ください

会費 本部 年2500円
支部 支部により異なります

ベーチェット病に関する調査研究班

ベーチェット病の病態の解明および
具体的な診療指針の作成



<http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~behcet/>

このリーフレットは、製薬会社のセルジーン（株）
・アツヴィ合同会社に協力いただいて作成しました

ベーチェット病 友の会 本部

所在地

〒579-8033
大阪府東大阪市出雲井町6-13
シャルマンコーポ 1棟102
会長 遠田日出子
電話:090-3272-7088 (とおだ)
FAX番号: 0729-68-8067

メール

t4492a@sky.plala.or.jp



←QRコードを読み取ると、
メールを送信できます

URL

<http://behcets.web.fc2.com/>



←QRコードを読み取ると、
本部のホームページが見れます



ベーチェット病 友の会



病気を知って!

仲間と 情報共有

医療相談窓口：
090-8737-7952 (担当：秋山)

ベーチェット病 ってどんな病気？

1937年 トルコの皮膚科医のベーチェットが発表
1972年 日本難病指定

全身の各部に繰り返し炎症が 出る病気です

①口腔粘膜の再発性アフター性潰瘍
繰り返し起こる口内炎のことです。

②外陰部潰瘍
男性器・女性器周辺に起こる炎症で痛み があります。

③皮膚症状
頭や顔などにニキビ状の炎症が起こったり、皮膚の表面にある静脈に炎症が起こったり、
下腿・大腿を中心とした皮膚に痛みを伴うしこりができたりします。

④眼症状
最も重い症状で、眼の前眼部と言われる部分を中心に炎症が起こり、まぶしさや眼の痛み
といった症状が出ます。多くの場合、両眼に症状が出て、炎症が後眼部まで及ぶと、視力
の低下や失明に至ることもあります。

以上、4つが主症状となります。

発熱や炎症を繰り返し、
おかしいと思ったら、
内科・皮膚科・眼科を
受診し相談してください。

患者さんの中には4つの症状が全てみられる人（完全型と言われます）もいます。
いくつかの症状の組み合わせから、ベーチェット病と診断される人（不全型と言います）も
います。

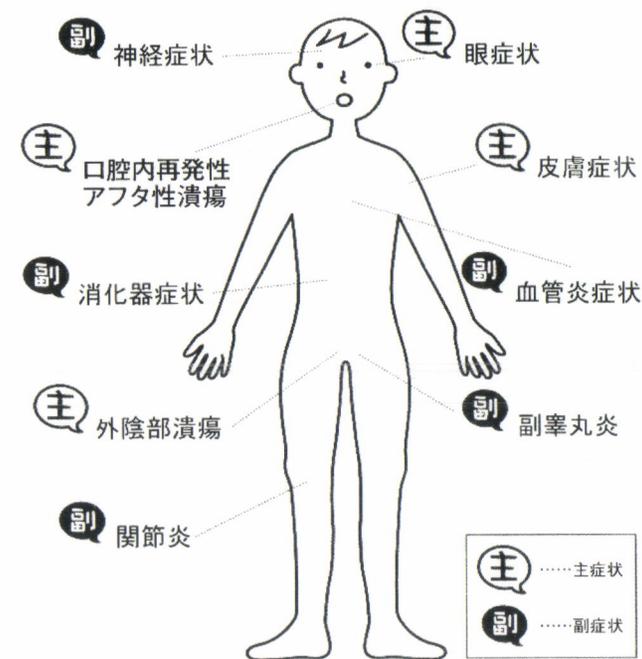
副症状として、

①関節炎 ②副睾丸炎 ③血管炎症状 ④消化器症状 ⑤神経症状があります。

ベーチェット病の症状というのは、その病気 の人の数だけあります。

ベーチェット病の診断には症状の有無だけでなく、継続して何度も症状を繰り返すことが
必須条件になっています。

4つの主症状と5つの副症状



出典 ベーチェット病 著者 石ヶ坪良明
ISBN978-7-8327-0667-5

(A) トルコの皮膚科医ベーチェット博士が発表した ので、その名前が病名についている

(B) 地中海から日本までのシルクロード周辺に患 者が多いことから、別名シルクロード病とも呼ばれる